

青海ボランティア隊 2024 年度

近距離移動用モビリティ利用推進モデル地区 実証実験事業

<事業背景と目的>

高齢者の免許返納は2022年時点で全国において約350万人を超え、今後も増加していくと予想されています。このため、自家用車に代わる高齢者の生活のための輸送手段の確保はここ常滑市内でも喫緊の課題となっています。2022年10月からまずは常滑市内においてコミュニティバスの運行がスタートし、潜在的な利用者の生活のための輸送手段の確保が進みつつあります。さらに2023年末からデマンド輸送の実証実験も行われ、市内の動脈的輸送の確保や検証は順調に進んでいます。しかしながら、バス停までの移動が難しく、自宅から外出ができない高齢者が今後さらに増えると予想され、このような毛細血管的な輸送についてはいまだ有効な手だてが打てない現状があります。そこで2024年春から、青海ボランティア隊では、交通弱者移動支援事業の一環として、現在実施している無料住民バスとも連動させながら、高齢者が近距離を外出できる新たな選択肢であり、免許不要で気軽に安心して歩道を走行できる「近距離移動用モビリティ」の利用推進を目的とし、まずは市内でも有数の急な坂が存在する青海山団地を近距離移動用モビリティ利用推進のモデル地区として捉え、常滑市、常滑市社会福祉協議会、宮山区、青海町町内会とも連携・協働した実証実験を1年間かけて実施。近い将来生活のための近距離移動手段の確保が必要となる潜在ユーザーを早期に発見し、体験講習へと促す施策を行い、実際に継続使用してもらう中で、危険が伴う道路や側溝の把握や駐機場の整備・確保のあり方、既存公共事業交通との連携など諸課題を洗い出し、対策や対処の方法を取りまとめ、今後同じような悩みを抱えると想定される常滑市内他地区への応用できるモデルフローづくりを行うための社会実験を行います。

<実施スケジュール>

- 4月 4日（木）無料住民バス バス停設置・運行スタート
- 4月12日（金）第1回 関係者連絡会議の開催
（5月講習会&試乗調査・実証実験に関する協議）
- 4月27日（土）広報スタート
- 5月 4日（土）講習会&貸出の実施スタート
（以降毎月第1土曜日に講習会と返却&貸出を3月まで実施）
- 8月 9日（金）第2回 関係者連絡会議の開催
（中間報告と意見交換、他地区への展開に関する検討協議）
- 12月13日（金）第3回 関係者連絡会議の開催
（中間報告と意見交換、他地区への展開決定、2025年度実施方法の検討協議、モデルフロー案に関する協議）
- 2月27日（木）無料住民バス運行終了
- 3月 7日（金）第4回 関係者連絡会議の開催
（実証実験結果最終報告、モデルフロー最終確定）
- 3月30日（日）事業終了

<講習会使用資料>

●簡易認知機能検査／簡易運動機能検査

もの忘れ

簡易スクリーニング検査

監修 鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座(寄附講座) 教授 浦上克哉

もの忘れ簡易スクリーニング検査は、**簡便かつ時間をかけずに認知症をスクリーニングすることができます。**また、**点数が良くなかった検査項目によって、脳の障害部位をある程度推定することができる点も特徴の1つです。**
 認知症の早期発見にお役立て頂ければ幸いです。

「時間の見当識」の低下

➡

側頭葉の障害が疑われます。

認知症が重度になるほど、一般に日時のズレが大きくなります。

「空間認知」の低下

➡

頭頂葉の障害が疑われます。

アルツハイマー型認知症の場合、立方体を正確に描けなくなってきました。

「遅延再生」の低下

➡

側頭葉の障害が疑われます。

認知症が比較的軽度の段階から障害されます。

●使用方法などにつきましては、次ページをご覧ください。

年 月 日

相談者の氏名 _____

以下の順番で相談者に質問、および立方体の模写をしていただき
 採点し、最後に合計点数を記入してください。

		不正解	正解
即時再生	これから言う3つの言葉を覚えてください。 あとでまた聞きますからよく覚えてください。(以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく) 1 : a桜 b猫 c電車 2 : a梅 b犬 c自動車	a 0	1
	b 0	1	
	c 0	1	
時間の見当識	今日は何年の何月何日ですか。 何曜日ですか。 (年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	年 0	1
		月 0	1
		日 0	1
		曜日 0	1
空間認知	立方体の模写(2枚目の相談者記入用を使用) (一部不正解: 1点 完全な正解: 2点)	0	1 2
遅延再生	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度聞いてみてください。 (自発的に回答があれば各2点、もし回答がない場合は以下のヒントを与えて正解であれば1点) a植物 b動物 c乗り物	a 0	1 2
		b 0	1 2
		c 0	1 2

合計: /15点

合計点数

15～13点: 特に問題ないと思われます。
 12～ 0点: 認知症が疑われます。

検査者記入用

高齢者の運動機能

セルフチェック

お役立ちBOOK

三重県リハビリテーション情報センター

4.【サルコペニア】SARC-F

概要
 SARC-Fは、サルコペニアをスクリーニングする評価表です。5項目の質問文があります。それぞれの質問文に対して、3つの回答文の中から1つを選択してもらいます。最高得点は10点になります。

項目	質問	回答
Strength (筋力)	4.5kgの荷物(2リットルのペットボトル2本、あるいは市販のお米など)を持ち運ぶのはどのくらい困難ですか？	0点=困難でない 1点=いくらか困難 2点=非常に困難、できない
Assistance in walking (歩行時の補助)	部屋の中を移動するのはどのくらい困難ですか？	0点=困難でない 1点=いくらか困難 2点=非常に困難、できない
Rise from a chair (椅子からの起立)	椅子やベッドから立ち上がるのはどのくらい困難ですか？	0点=困難でない 1点=いくらか困難 2点=非常に困難、できない
Climb stairs (階段をのぼること)	階段10段のぼるのはどのくらい困難ですか？	0点=困難でない 1点=いくらか困難 2点=非常に困難、できない
Falls (転倒)	過去1年間で何回転倒しましたか？	0点=なし 1点=1～3回 2点=4回以上

評価値の意味
 4点以上がカットオフ(スクリーニング陽性)となります。

Kurita N, et al. SARC-F Validation and SARC-F+EBM Derivation in Musculoskeletal Disease: The SPSS-OK Study The Journal of Nutrition, Health & Aging 2019; 23: 732-738.

●講習コース／安全の3原則／緊急連絡先

● 無料住民電動小型モビリティ 講習コース

2405 修正版



無料住民電動小型モビリティ 安全に使っていただくための3原則

無料住民電動小型モビリティは、時速6km/h以下道路交通法上は歩行者扱いで、免許不要で歩道を走行できますが、安全のため、以下の3つの原則を守りましょう。

- ① 歩行者とゆずりあい、歩道（路側帯の内側）を走行し、**右側通行**を守りましょう。



- ② 信号と一時停止を必ず守りましょう。



- ③ 夜間の使用、飲酒後の使用は危ないので禁止。



< 緊急時連絡先 >

● 自動車との接触事故の場合

- ▶ 警察 110 番通報
- ▶ 青海ボランティア隊事務局 090-9941-3191（平日 9:00-15:00）

● 人との接触事故の場合（相手の応急救護を行いながら）

- ▶ 警察 110 番通報
- ▶ 青海ボランティア隊事務局 090-9941-3191（平日 9:00-15:00）

● 単独の自損事故の場合

- ▶ 自分がケガをして動けないなどの場合は 119 番通報
- ▶ 青海ボランティア隊事務局 090-9941-3191（平日 9:00-15:00）

● その他（故障等）

- ▶ 身内へ連絡し対処
- ▶ 青海ボランティア隊事務局 090-9941-3191（平日 9:00-15:00）



●利用同意書

無料住民電動小型モビリティ利用同意書

私は、青海ボランティア隊より無料住民電動小型モビリティを借り受けして利用するにあたり、下記のすべての事項に同意いたします。

青海ボランティア隊が貸出を行う無料住民電動小型モビリティは、時速6km/h以下 / 道路交通法上歩行者扱い / 免許不要で歩道を走行可能 / 電動車椅子規格 (Model CS のみ) となります。本事業は社会実験のため、後日行う関係者会議にお越しいただき、ヒアリングや意見聴取などにご協力をお願いすることがあります。その際にご協力いただくことを前提に貸出を行うものです。

■同意書の提出

使用される方 (同居者も使用される場合は該当する同居者含む) の住所、氏名、年齢、連絡先をご記入いただいた本同意書を青海ボランティア隊へご提出ください。

■簡易認知機能検査の実施

使用される方 (同居者も使用される場合は該当する同居者含む) 全員に必ず簡易認知機能検査を受けていただき、13点以上取得された方にのみ貸出を行うこととします。

■運動機能チェックおよび講習会の実施

使用される方 (同居者も使用される場合は該当する同居者含む) 全員に必ず運動機能チェックと貸出前の事前実地講習を受けていただきます。なお別添のチラシに講習会の日時が記載されていますので、その日時に必ずお越しいただきお受けいただくこととします。

■使用後のアンケートの実施

使用された方 (同居者も運転された場合は該当する同居者含む) 全員に使用後アンケートへのご記入をお願いいたします。

■貸出期間

翌月の講習会までの約1ヶ月間無料で貸出を行います。
 ※雨天時は、翌日の同じ時間に順延とさせていただきます。
 ※翌日も雨天となった場合は、その月の開催を中止しますので、翌月開催日まで引き続きお使いのうえ、翌月にご返却ください。
 ※貸出機は3台です。応募者多数の場合は貸出未経験の方を優先とし、その後は抽選を行うなどなるべく公平になるよう調整させていただきます。予めご了承ください。

■返却方法

貸出を受けた翌月の講習会に、借り受けした無料住民電動小型モビリティに乗ってお越しいただき、ご返却をお願いいたします。

■保険・補償について

青海ボランティア隊が貸出を行う無料住民電動小型モビリティは、道路交通法上免許不要で徒歩扱いとなります。このため、万が一、無料住民電動小型モビリティ使用中に事故にあった場合、または、使用された方が事故を起こし相手にけがをさせてしまったり、他者の物品を破損させてしまった場合は、使用

された方の個人賠償責任の範囲となります。使用される方でご心配な方は事前に、ご自宅の火災保険などに付帯する個人賠償責任保険に加入されているかどうかご確認の上、ご利用ください。

■事故時の対応

万が一、使用中に事故にあわれた場合は、緊急時連絡先をご参照の上、速やかな対応をお願いいたします。

■その他の注意事項

- 貸出機材の使用に関して
 - 使用法について事前に取扱説明書をお読みください。貸出機材は日常防水仕様ですが、安全のため、雨天時、または風の強い荒天時、夜間は絶対に使用しないでください。
 - 保管の際は、雨などがからまないよう防水カバーをかけて保管してください。
 - ※Mode IC2に関しては必ず室内で保管してください。
- 故意または過失による機材破損については、実際にかかった修理費用をご請求させていただく場合があります。
- 使用に際して、青海ボランティア隊から改善の注意または警告を行う場合があります。再三の申し入れに従っていただけない場合は、期間中であっても貸出を中止する場合があります。
- その他、運用方法や貸出方法などを期間途中で変更する場合があります。

上記内容を理解し、同意しました。また以下の質問事項にも該当しません。

- 過去5年以内において、病氣 (病気の治療に伴う症状を含む) を原因として、又は原因は明らかではないことによる意識を消失した経験はない。
- 過去5年以内において、病気を原因として、身体の一部又は一部が、一時的に思い通りに動かせなくなったことはない。
- 過去5年以内において、十分な睡眠時間を取っているにもかかわらず、日中、活動している量中に眠り込んでしまった回数が週3回以上となったことはない。
- 過去1年以内において、次のいずれかの状態に該当したことはない。
 - 飲酒を繰り返して、絶えず体にアルコールが入っている状態を3日以上続けたことが3回以上ある。
 - 病気の治療のため、医師から飲酒をやめるよう助言を受けているにもかかわらず、飲酒したことが3回以上ある。

以上を踏まえ、私は青海ボランティア隊より無料住民電動小型モビリティを借り受けして利用します。そして、青海ボランティア隊にいかなる場合でも損害賠償を請求いたしません。

_____年____月____日

住所 _____ 署名 (使用者自筆) _____

年齢 _____ 連絡先 (自宅) _____ (携帯) _____

< 5～6月講習会開催風景 >



